福岡市 Well-being＆SDGs 登録制度：マスター

事業者名	西部ガスホールディングス株式会社
代表者名	道永　幸典
所在地	福岡市博多区千代 1-17-1
市内拠点所在地	（所在地が市外の場合のみ記載） –
業種	電気・ガス・熱供給・水道業
電話番号	092-633-2237
ホームページ	https://hd.saibugas.co.jp/index.htm

Well-being 向上に向けた取組み	フレックスタイム・テレワークなどの柔軟なワークスタイルの推進や、従業員の多様な挑戦を支援する各種制度を積極的に展開し、多様な誰もが働きがいをもって働くことができる環境整備を進めている。		
アンケート実施	○	**アンケートの社内共有**	○

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名：西部ガスホールディングス株式会社

カテゴリ	チェック項目	3側面該当 環境	社会	経済	具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	**【ダイバーシティ経営の促進】** ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等）が、十分に活躍できる環境を整えている。		○	○	グループ全体でダイバーシティ＆インクルージョンへの理解と意義の共有を通して、多様な人材が個性を生かし、新たな価値創造に向けた行動につなげることを目的にイベントを実施している。					○			○		○							
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	・西部ガスグループ5社では、一部を除く全職場にフレックスタイム制を導入している。 ・全部門を対象として月の上限回数内で自宅での勤務を可能とする在宅勤務、営業部門には必要に応じて外出先での勤務を可能とするモバイルワークを導入している。					○			○		○							
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・人権（特にセクハラやパワハラ等のハラスメントやコンプライアンス）に関する相談窓口を設けており、匿名での相談も受け付けている。相談された案件は社内調査を行い、問題が発覚した際は是正措置および再発防止措置を講じ、当事者を救済する。 ・人権問題やハラスメントの防止について研修を実施している。					○			○		○						○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・労務マネジメントと働き方改革による総労働時間削減を目指して、年間総労働時間、時間外労働時間、年休等の実績管理、労働時間管理ルールの設定、定期的な労使協議の実施等を継続的に実施している。 ・生活習慣改善、運動習慣の定着、メンタルヘルス対策、健康診断実施率の向上を柱として健康経営を推進している。			○		○			○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	・組織での役割やキャリアの方向性を社員本人と会社・上司が共有することにより、能力開発や人財育成に繋げていく「選択型育成フィールド」を2015年度より設定し、役割・貢献意識の高い人財育成に努めている。 ・「研修教育」では、資格・役割に応じた階層別・役割別研修やキャリア研修なども行っている。				○	○			○	○								
環境	**【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】** ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・一般廃棄物については、各事業所のオフィスから排出される紙類を古紙回収リサイクルするとともに、ペーパーレス化や用紙の両面使用などで減量化を図っている。 ・産業廃棄物については蛍光管、金属くず、廃油などを再資源化するとともに、汚泥の排出に際しても乾燥による減量化を行っている。			○			○					○	○		○			
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	・ガス製造工場では、常に省エネルギーを心がけ、プラントの運転方法の見直しや設備の改善に継続的に取り組んでいる。 ・オフィスにおいては照明の不用箇所消灯、電灯の間引き、OA機器の省電力、空調温度の調整、エレベーターの使用自粛、クールビズの奨励、社用車のエコドライブ運動等で省エネルギーを図っている。							○					○	○					
環境	**【生物多様性、天然資源への配慮】** ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	・地域の環境保全・美化を目的とし、社会課題の解決を目指して、取り組みを推進・実施している。 ・環境負荷が大きく、生態系に影響を与える恐れのある事業を計画する際には、必要に応じてアセスメントを行って影響把握を行い、生物多様性への影響の回避、低減に努めている。						○						○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・事業所全般で利用する上水・工業用水に関しては、使用量を把握のうえ、水使用量削減に取り組んでいる。 ・排水に関しては、法令や自治体の条例等に基づいて水質管理を行っている。 ・2022年度より、上水・工業用水の使用量を2021年度実績から毎年度1%削減することを目標に節水に取り組んでいく。						○											
製品・サービス	**【製品・サービスの安全性】** ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。		○	○	・地震の揺れなどを感知し自動的にガスを遮断するマイコンメーターの設置、家庭用の各種安全装置を搭載したガス機器、ガス漏れ・住宅火災・不完全燃焼をお知らせする複合型ガス警報器の普及を図っている。 ・業務用では業務用換気警報器の設置により、業務用厨房内で発生する一酸化炭素中毒の防止を図っている。			○									○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	福岡市と「地球温暖化防止に向けた連携協定」を結んでおり、重要な社会課題である地球温暖化の解決に向けた意識醸成や環境エネルギー教育などを通じた啓発、脱炭素に関するイノベーションなどについて連携、協働し、取り組んでいる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	**【個人情報保護】** ・個人情報を適切に管理している。		○		・西部ガスグループ個人情報保護方針を定めており、個人情報の保護に努めている。 ・個人情報保護規程、情報セキュリティ規程、情報セキュリティガイドなどを制定し、物理的、技術的な情報セキュリティ対策を推進している。 ・全従業員に対して情報セキュリティ教育を実施している。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。		○		・コンプライアンスを大前提とする事業運営をあるべき姿とし、「西部ガスグループコンプライアンス基本方針」を定めている。 ・階層別研修やハラスメント教育、新聞・マガジンによる意識啓発を行い、従業者のコンプライアンスレベルを高める活動を継続的に実施している。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・経営理念及び経営目標を明文化し、全従業員に共有している。経営理念については行事開催時の唱和や掲示、サステナビリティ基本方針等への引用などを通して浸透させている。 ・中期経営計画やビジョンの策定の際には説明会等を開催し、策定の意図や目標についてグループ内への浸透を図っている。								○	○								○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・設備の一元的な管理及び計画的な改善による耐震性の向上、災害保険等の各種保険への加入、大規模災害や事故発生時の事業継続計画（BCP）の策定や見直し等の取り組みを進めている。 ・感染症が国内外に蔓延した場合においても、都市ガスの供給や当社グループ事業を維持するよう対策を講じている。									○		○		○			○	